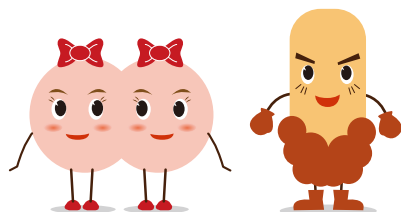


明るく健康で豊かに

限りない可能性を追求するプロジェクトが
新しい明日を拓きます。



株式会社 目黒研究所

MEGURO INSTITUTE CO., LTD



社長挨拶

当社はパスツール研究所に学んだ故目黒庸三郎博士によって大正14年(1925年)「大阪実験治療研究所」として設立し、昭和12年(1937年)に「目黒研究所」と改称し、現在に至るまで、乳酸菌・納豆菌で健康と若さを追求する生物学的医薬品の研究・開発に取り組んで参りました。

年々高度化される製造開発基準に対応し、昭和55年(1980年)に兵庫県加西市に医薬品GMP適合工場を新設し、生産体制の充実を果たし、医薬品以外の製品においても同等の品質管理体制で提供して参ります。

弊社では主力製品である乳酸菌、納豆菌に関して腸内細菌のバランスを改善することで人の健康に有益な働きをする微生物、いわゆる「プロバイオティクス」に基づく医療用医薬品、OTC、健康食品(サプリメント)の原料、又、飼料添加物等の製造・販売や当該技術を生かした各種の菌受託製造も行っております。また、各種機関と共同研究を積極的に進め、更なる用途拡大を目指し、今後も皆様に当社の技術でお役に立てるよう努力して参ります。

そして、培ってきたバイオインダストリーの技術により創製された医薬品、及び飼料添加物等の製品により、「フットワークの良さ」と「チャレンジ精神」を忘れずに21世紀の治療、予防、セルフケアに貢献することを目標に推進してまいります。

今後とも引き続きご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



代表取締役社長
井上 信之

株式会社目黒研究所 代表取締役社長 井上 信之



会社概要・沿革

会社概要

名称: 株式会社 目黒研究所

本社: 〒563-0041 大阪府池田市満寿美町7番29号
TEL:072-751-2927 FAX:072-753-3364



加西工場: 〒675-2101 兵庫県加西市繁昌町字小谷ノ上乙318-1
TEL:0790-49-2361 FAX:0790-49-1329



創立: 1925年(大正14年)

資本金: 3,520万円

代表者: 代表取締役 井上 信之

従業員数: 20名(2011年(平成23年)6月1日現在)

主な事業内容: 医薬品、健康食品、飼料等の製造販売および輸出入

株主: 丸石製薬株式会社

取引先銀行: 三井住友銀行 大阪中央支店
みなと銀行 大阪支店

沿革

目黒研究所は故目黒庸三郎博士によって「大阪治療実験研究所」として設立される。故博士は明治43年大阪府立高等医学校卒業後生化学を研究、後に伝染病研究所志賀潔先生のもとで細菌学並び免疫学を修める。北里先生が創設された北里研究所において、志賀先生とともに4年間研究に没頭する。大正11年に渡欧し、ベルギーのパスツール研究所にてホリデー博士に、パリのパスツール研究所にてラモン博士の研修指導を受けた。帰国後大正14年5月、大阪実験治療研究所を大阪北区に開設したのを発祥とする。

— 目黒研究所年表 —

1925年(大正14年) 大阪実験治療研究所(大阪市北区)創設

1929年(昭和4年) 乳酸菌製剤「ビオゼニン」発売

1931年(昭和6年) 「ジフテリアホルモワクチン」発売

1937年(昭和12年) 目黒研究所と改称
「ジフテリア血清」発売

1945年(昭和20年) 戦火により目黒研究所消失
直に池田市神田町付属免疫所に移転

1948年(昭和23年) 池田市満寿美町(現住所)に研究所新築
「株式会社目黒研究所」に組織変更

1950年(昭和25年) 「発疹チフスワクチン」発売

1952年(昭和27年) 乳酸菌製剤「ビオゼニン」発売再開

1958年(昭和33年) 「日本脳炎ワクチン」発売

1968年(昭和43年) 多剤耐性乳酸菌「コンクエンテロポリリアル」発売
納豆菌「ビオナットミン」発売
共に胃腸薬原料として製剤メーカーへ供給

1977年(昭和52年) B型肝炎診断用キット「リバーセル」発売
臨床検査薬市場へ参入

1980年(昭和55年) 兵庫県加西市(現住所)にGMP適合の新工場として「加西工場」完成
醗酵製剤、臓器抽出製剤(現在廃止)の生産体制拡充

1997年(平成9年) 丸石製薬株式会社の子会社となる

2003年(平成15年) 加西工場の増設



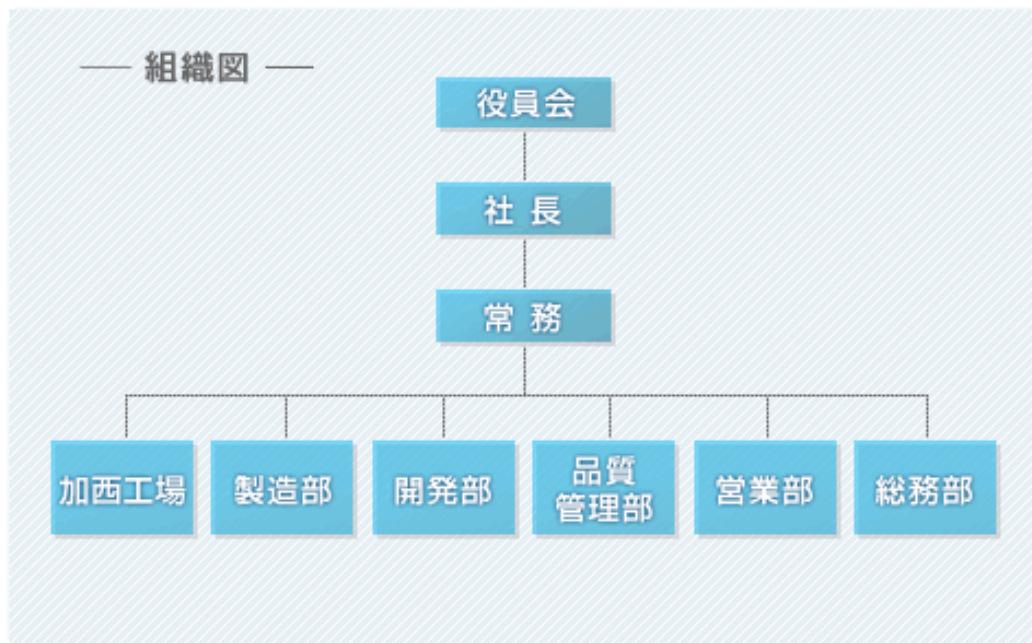
役員一覧・組織紹介

役員一覧

取締役社長	井上 信之
常務取締役	井筒 宏
取締役加西工場長	井上 芳樹
取締役(非常勤)	井上 慶一
監査役	中桐 康博

(平成23年6月現在)

組織紹介



(平成23年6月現在)



製品情報

人の腸内には100～1000兆個の腸内細菌が棲みついており、現在約500～1000種類と想定される菌種が存在していると言われています。有益な微生物を摂取することにより腸内菌叢の正常化、改善および病気の予防等が期待されています。

納豆菌

納豆菌は枯草菌の一種で自然界で最も安定した細菌類であり芽胞を形成する特異な菌で、納豆から分離したサワムラ株を起源としています。

▶ 医薬品 ▶ 健康食品 ▶ 飼料添加物

乳酸菌

乳酸菌はブルガリアで小児の腸内から分離されたBIO株を起源としています。

▶ 医薬品 ▶ 健康食品 ▶ 飼料添加物

鑑別用試薬

▶ 鑑別用試薬



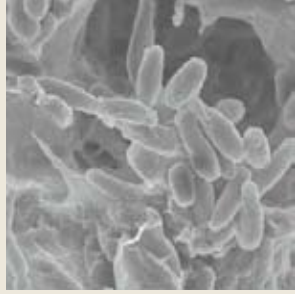
納豆菌

納豆菌は枯草菌の一種で自然界で最も安定した細菌類であり芽胞を形成する特異な菌です。
我社の納豆菌は納豆から分離したサワムラ株を起源としています。

納豆菌の特徴 (*Bacillus subtilis* BN)

目黒研究所では、新鮮糸引き納豆から分離された納豆菌株を、さらに独特の製法にて培養し、納豆菌の特性を増強しています。納豆菌は安定性が高く、数年間の保存も可能です。

芽胞



栄養型



<撮影:岡山県立大学 有田美知子>

Bacillus subtilis BN

電子顕微鏡で納豆菌BN株を撮影。(左:芽胞の状態、右:栄養型の状態)

(芽胞: × 10,000, 栄養型: × 5,000 倍)

医薬品

製品名: **ビオナットミン**

”ビオナットミン”(納豆菌(*Bacillus subtilis* BN))は、医薬品原料(原薬)として使用されています。
作用:本品は経口投与により、おなかの調子を整え、消化不良や下痢、便秘をすみやかに改善します。さらに、食物の消化吸収を高め、腸を健康にするとともに腸内の有害菌が増えるのをおさえ、有用菌を増やし腸内バランスを整えます。

健康食品

製品名: **納豆菌末**

”納豆菌末シリーズ”(納豆菌(*Bacillus subtilis* BN))は、健康食品原料(原末)として使用されています。
含有量についてはお問い合わせ下さい。

飼料添加物

製品名: **クローゲン11**

”クローゲン11”(納豆菌(*Bacillus subtilis* BN))は、飼料添加物原料(原末)として使用されています。



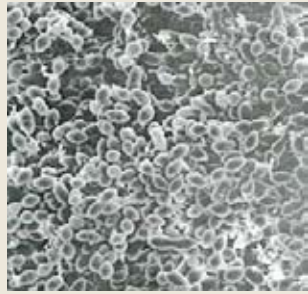
乳酸菌

乳酸菌はブルガリアで小児の腸内から分離されたBIO株(ビーアイオー株)を起源としています。

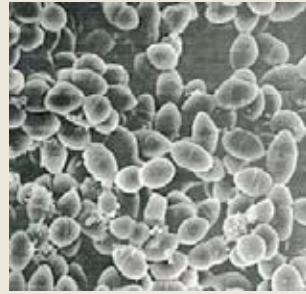
乳酸菌の特徴 (Streptococcus faecalis BIO or Enterococcus faecium BIO)

目黒研究所では、独特の製法により高度活性の乳酸菌BIO株を製造しています。
乳酸菌のBIO株の安定性は高く、高温、多湿を避けて保存する限り、長期間目立った生菌数の低下はみられません。

当社の乳酸菌(Enterococcus faecium BIO)の写真



Enterococcus faecium BIO (x5,000)



Enterococcus faecium BIO (x10,000)

医薬品

製品名: **コンクピオゼニン**

”コンクピオゼニン”(乳酸菌 (*Streptococcus faecalis* BIO))は、医薬品原料(原薬)として使用されています。

作用: 本品は経口投与により、下痢・便秘などを改善、便の状態を良くします。
さらに、食物の消化吸収を助け、腸内の有害菌が増えるのをおさえ腸内環境を整えます。

製品名: **コンク・エンテロポリアール末 (耐性乳酸菌)**

”コンク・エンテロポリアール末”(乳酸菌 (*Streptococcus faecalis* BIO-4R))は、医薬品原料(原薬)として使用されています。

作用: 抗生物質・化学療法剤投与時の腸内菌叢の異常による諸症状(抗生物質の長期投与による下痢等の便性異常、腸内菌交代現象)の改善に効果を示します。

健康食品

製品名: **乳酸菌末**

”乳酸菌末シリーズ”(乳酸菌 (*Enterococcus faecium* BIO))は、健康食品原料(原末)として使用されています。

含有量についてはお問い合わせ下さい。

飼料添加物

製品名: **バラントール末(コーキン化学株式会社)**

”バラントール末”(乳酸菌 (*Enterococcus faecium* BIO-4R))は、飼料添加物原料(原末)として使用されています。



鑑別用試薬



ウロメディウム

尿中細菌簡易定量・鑑別培養基
発売元：日水製薬株式会社



フードプレートX

液状食品の細菌検査用簡易定量培地
(一般生菌数および大腸菌群検査用)
発売元：日水製薬株式会社